

第 5 章

**JICA 「ラオス人民民主共和国道路維持管理
能力強化プロジェクト」研修**

5.1 概要

(1) 研修会名

国際協力機構(JICA)「ラオス国道路維持管理能力強化プロジェクト 第四回本邦研修」

(2) 開催の背景

国際協力機構(JICA)は、ラオス人民民主共和国に対して、2011年9月から2016年9月までの5年間にわたり、ラオス国内の道路・橋梁の維持管理能力を強化する協力・支援事業(「道路維持管理能力強化プロジェクト」、以下「技プロ」)を実施している。インフラ長寿命化センターに所属する西川貴文教員(大学院工学研究科社会環境デザイン工学コース)は、研究・開発した道路ラフネス診断システム(Dynamic Response Intelligent Monitoring System: DRIMS)を用いたラフネス計測に関する技術指導のために当該技プロにJICA短期専門家として参加している。技プロでは例年1~2回のラオス国外研修を実施しているが、昨年度、インフラ長寿命化センターと社会環境デザイン工学コースとの共催によって長崎大学で開催した研修が、研修員およびJICAから高く評価され、今年度も同様に長崎大学で開催することとなった。

(3) 研修会の目的

研修は、研修に参加したラオス国研修員が以下の項目を把握し習得することを目的として実施された。また、ラオス国における維持管理体制および関連制度をレビューし、問題や課題を把握し、維持管理体制・制度の強化のための方策をアクションプランにまとめるなどして、プロジェクトの目標を達成することが目的とされた。

- ①本邦および第3国での道路・橋梁維持管理に係る組織体制(組織、職掌、人材、機材、予算)
- ②道路・橋梁維持管理のシステム、データベースの整備及び利用状況
- ③道路・橋梁維持管理の点検、評価、補修のガイドラインの整備及び利用状況
- ④日常維持管理・補修にかかる最新技術、実地見学

(4) 期間

本研修は、2015年8月18日から同年8月28日の11日間にわたって開催した。研修日程の概要を表5-1に示す。

5.2 プログラムの構成

研修のプログラムは、インフラ長寿命化センターの“道守”養成ユニットのカリキュラムと社会環境デザイン工学コースの教育カリキュラムをもとに、ラオス国および技プロの要望に応じて編成した。

ラオス国内の道路構造物の状況を考慮し、道路舗装、橋梁、トンネルおよび斜面の維持管理に関する講義を設け、点検・診断技術については講義と演習・実習がリンクした構成とした。特に、“道守”養成講座でも行われている点検技術の演習は、研修員が積極的に先進の診断技術を体験することができ、強い関心を集めた。また、長崎の道守制度は今後のラオス国の道路維持管理の組織体制の構築に大いに参考となったようである。

表 5-1 「ラオス国道路維持管理能力強化プロジェクト 第四回本邦研修」の日程概要

日程		内容	宿泊	備考
8月17日	月	福岡着	福岡	
8月18日	火	JICA プリーフィング & 長崎へ移動	長崎	鉄道移動
8月19日	水	長崎大学での講義 (Day 1)	長崎	
8月20日	木	長崎大学での講義 (Day 2)	長崎	
8月21日	金	長崎大学での講義 (Day 3)	長崎	
8月22日	土	長崎市内視察	長崎	
8月23日	日	自由行動	長崎	
8月24日	月	長崎大学での講義 (Day 4)	長崎	
8月25日	火	フィールドビジット (Day 5)	長崎(雲仙)	バス移動
8月26日	水	フィールドビジット (Day 6)	福岡	バス移動
8月27日	木	長崎大学での講義 (Day 7)	長崎	
8月28日	金	JICA での検討会	福岡	
8月29日	土	福岡発	ビエンチャン	

日本の道路維持修繕に関する講義では、昨年度に引き続き国土交通省九州地方整備局および同・長崎河川国道事務所の協力を得ることができ、講義に引き続いて行ったディスカッションも含めて、我が国の道路維持管理の現況と最新の取り組みを研修員に紹介するとともに、ラオス国の道路維持管理の状況を我が国の道路管理者が把握する貴重な機会となった。

フィールドビジット（道路建設現場見学）については、福岡県久留米県土整備事務所とオリエンタル白石株式会社の協力により、福岡県道久留米筑紫野線・神代橋建設現場および橋梁上部工製作工場を見学する機会を得た。研修員は、我が国の建設現場における安全および工程の管理水準の高さに感銘を受けていたようである。なお、昨年度の研修で好評であったことから今年度の研修にも組み込んだ雲仙普賢岳の火山災害と災害復興現場の視察は、折悪く九州北部を通過した台風の影響により中止した。

研修プログラムを表 5-2 に示す。

5.3 研修員および講師

今年度の研修には、ラオス国の公共事業運輸省（我が国の国土交通省に相当）や県公共運輸局の職員など 5 名の研修員が参加した。表 5-3 に参加した研修員の一覧を示す。

講義、演習・実習およびフィールドビジットは、表 5-4 に示す講師のもとに行われた。

5.4 まとめ

前記したように今年度の研修も、プログラムの構成から実施に至るまで、国土交通省九州地方整備局、同・長崎河川国道事務所、福岡県久留米県土整備事務所、オリエンタル白石株式会社に多大なる協力を得た。ここに記して篤く謝意を表す。

このような研修を大学で主体的に受け入れ、実施する例は非常に稀であるが、昨年度に続く実績が JICA に高く評価され、今年度は新たな研修業務である課題別研修「橋梁維持管理」（全世界対象、2015年～2017年）を受託するに至った。今後も引き続き、社会基盤施設の維持管理に係る日本の技術と教育を世界へ発信する一翼として活動を推し進める。

表 5-2 「ラオス国道路維持管理能力強化プロジェクト 第四回本邦研修」プログラム

日 程		I	II	休憩	III	IV	V	研修場所
		9:30 - 10:30	10:45 - 11:45		13:00 - 14:00	14:15 - 15:15	15:30 - 16:30	
8月18日	火	JICA ブリーフィング			移動（福岡～長崎）			JICA 九州
8月19日 [Day 1]	水	ガイダンス 研修生の自己紹介等	長崎大(工) の研究紹介 (1)	/	長崎大 (工)の研究紹介 (2)	ディスカッション1 大学構内案内		長崎大
8月20日 [Day 2]	木	橋梁の維持 管理(1): 鋼 橋	鋼構造物の 点検概論・ 事例		鋼構造物点検演習			長崎大
8月21日 [Day 3]	金	橋梁の維持 管理(2): コ ンクリート 橋	コンクリート 構造物の 点検概論・ 事例		コンクリート構造物点検演習			長崎大
8月24日 [Day 4]	月	長崎の取り 組み: 道守 (制度と通報 システム)	斜面・トン ネルの維持 管理		舗装の維 持管理	長崎の取り 組み: 災害 対策	ディスカッ ション2	長崎大
8月25日 [Day 5]	火	フィールドビジット（長崎）： 雲仙災害復興事業(国土交通省九州地方整備局雲仙復興事務所)						雲仙岳災害 記念館ほか
8月26日 [Day 6]	水	フィールドビジット（福岡）： 福岡県道久留米筑紫野線・神代橋建設現場(福岡県久留米県土整備事務所) 橋梁上部工製作工場（オリエンタル白石株式会社 福岡工場）						福岡県
8月27日 [Day 7]	木	[1]日本の道路維持修繕体制：地方整備局 [2]日本の道路維持管理の現況：地方整備局 [3]ディスカッション3（質疑応答、討議）				移動 (福岡～長崎)		長崎大
8月28日	金	JICA 検討会(修了式)						JICA 九州

表 5-3 研修員一覧

No.	氏名	所属機関
1	Mr. Kittisack PHOMMAVONGSY	Public Works and Transport Training Center, MPWT
2	Mr. Phonephana PHROMMALA	Department of Road, MPWT
3	Mr. Chanthavisith CHANTHOUM PHONE	Public Works and Transport Institute, MPWT
4	Mr. Somchai SAPHAKDY	Department of Public Works and Transport, VTE Province
5	Mr. Akhalar INTHAVONGSA	Department of Public Works and Transport, Savannakhet Province
MPWT:	Ministry of Public Works and Transport (公共事業運輸省)	

表 5-4 研修講師一覧 (順不同、敬称略)

No.	氏名	所属 (研修開催当時)	担当講義
1	龍 博文	国土交通省 九州地方整備局 長崎河川国道事務所	Day7-I_III
2	時川三千夫	国土交通省 九州地方整備局長崎河川国道事務所	Day7-I_III
2	宮丸正和	福岡県久留米県土整備事務所	Day6
3	藤木慶博	オリエンタル白石株式会社	Day6
4	高橋和雄	インフラ長寿命化センター	Day4-IV
5	松田 浩	長崎大学 大学院工学研究科	Day3-I
6	中村聖三	長崎大学 大学院工学研究科	Day2-I
7	森田千尋	長崎大学 大学院工学研究科	Day2-II
8	奥松俊博	長崎大学 大学院工学研究科	Day3-II
9	杉本知史	長崎大学 大学院工学研究科	Day5-I_II
10	西川貴文	長崎大学 大学院工学研究科	Day1, Day5, Day6
11	出水 享	長崎大学工学部教育支援部	Day2-III_IV, Day3-III_IV
12	林山愛弓	インフラ長寿命化センター	Day2-III_IV, Day3-III_IV

